

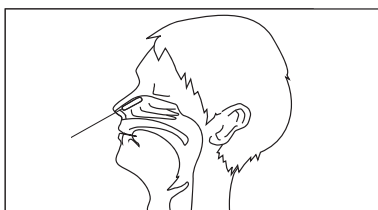
# 鼻腔ぬぐい液を検体とした場合の イムノエーヌ<sup>®</sup> SARS-CoV-2 II 操作方法



上記より使用方法を確認できます。

下記 **1** ~ **4** の手順に従って検査を実施してください。

## 1 検体採取

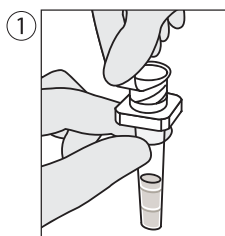


キット付属の綿棒を鼻孔から2cm程度挿入し、挿入後、綿棒を5回程度回転させながら擦るようにして粘膜表皮を採取し、5秒間静置します。

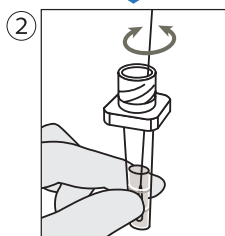


上記より検体採取方法を動画で確認できます。

## 2 試料調製

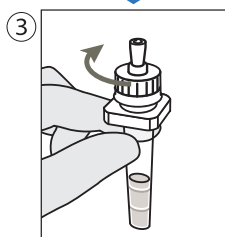


検体抽出液の容器のアルミシールを液が飛び散らないように剥がします。



検体採取後の綿棒を検体抽出液に浸し、容器の外側から綿棒の頭部を軽くつまみ5回以上左右に回転させ、上下に動かし攪拌します。

抽出後、容器の外側から綿棒の頭部をつまみ、試料を絞り出すように綿棒を引き抜き、試料とします。

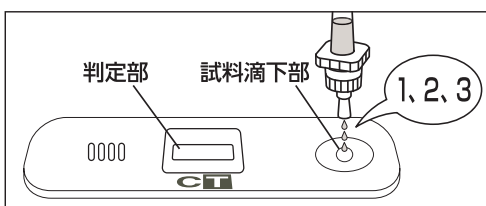


検体抽出液の容器の上端に付属のノズルを被せてしっかりと閉めます。



上記より操作方法を動画で確認できます。

## 3 試料滴下



①アルミ包装を開封し  
テストプレートを取り出します。

②検体抽出液の容器の中ほどをつまみ、  
テストプレートの試料滴下部に  
試料**3滴**を滴下します\*。

注意: テストプレートは開封後すぐに使用してください。

\*滴下するとき、検体抽出液の容器は垂直に保持し、ノズルの先端が試料滴下部に触れないよう注意してください。

\*試料の滴下量が多すぎた場合には、判定時間内に判定ラインが認められない、

または判定ラインが薄くなることもあるため、3滴の試料滴下を守ってください。

## 3 から 10 分経過後

## 4 判定



陰性

判定部[C]にのみラインが認められた場合。

陽性

判定部[T]及び[C]の両方にラインが認められた場合。

※ラインの濃淡に関わらず目視で確認できれば有効です。

※10分より前でも判定部[T]及び[C]の両方にラインが認められた場合には陽性と判定してください。

判定保留

判定部[C]に黒色のラインが認められない場合は、測定操作上の問題、あるいは試薬の品質上の問題が考えられます。

抗原量が非常に多い場合には、判定部[T]に非常に濃いラインが認められ、[C]にラインが認められないことがあります。